

## 1 開 会

## 2 詳細説明

- (1) 先生たちの働き方
- (2) 生徒・保護者の期待と不安
- (3) 下諏訪モデル
- (4) 今後の進め方
- (5) 新たな選択肢の新設を目指して
- (6) まとめ

## 3 質疑応答

## 4 閉 会

## 部活動の地域展開について

10月2日(木)下諏訪社中学校

10月3日(金) 下諏訪中学校

11月5日(水)下諏訪北小学校  
下諏訪南小学校

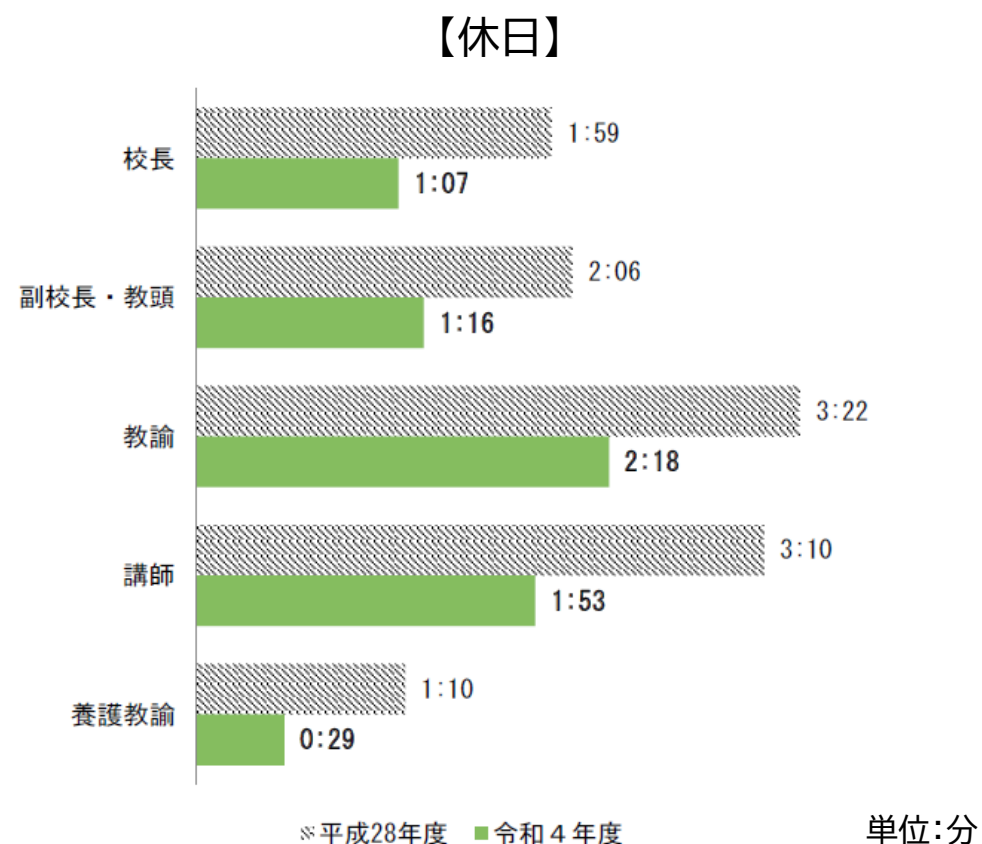
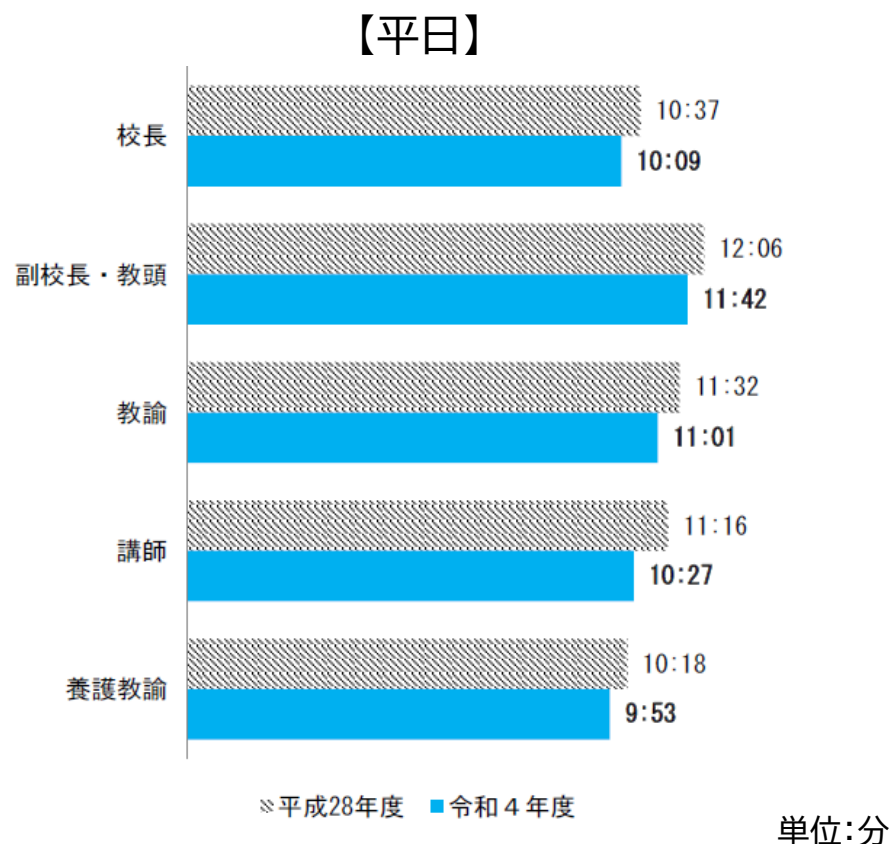
下諏訪町教育委員会

# 先生たちの働き方

# 1日当たりの在校時間



先生たちは、授業が終わったあとも多くの仕事をしています  
さらに、お休みの日も働くことが多い状況です



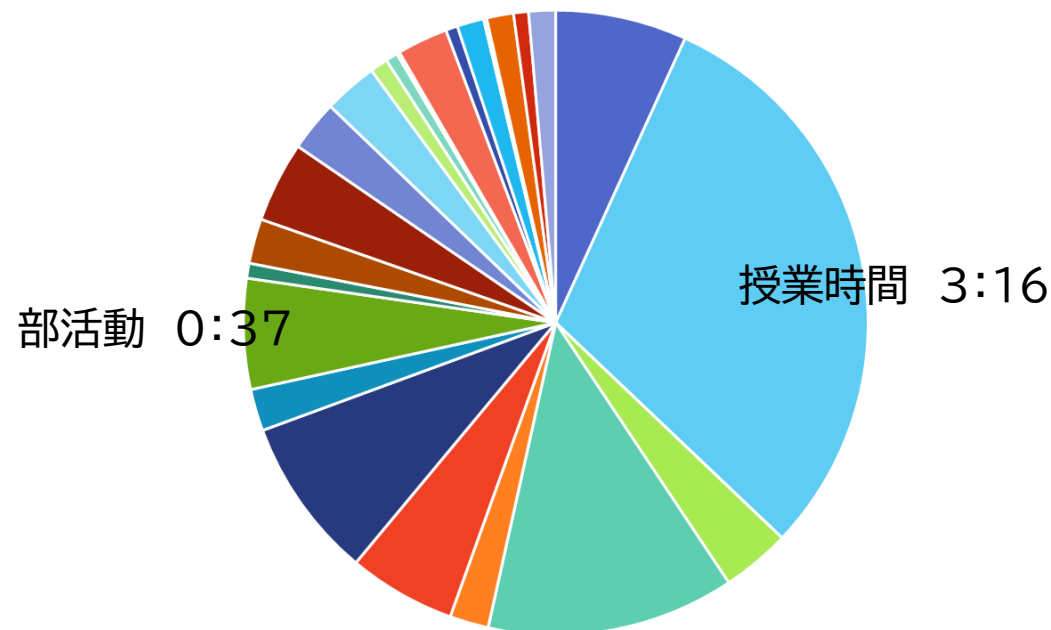
※出典:文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)

# 1日当たりの業務時間



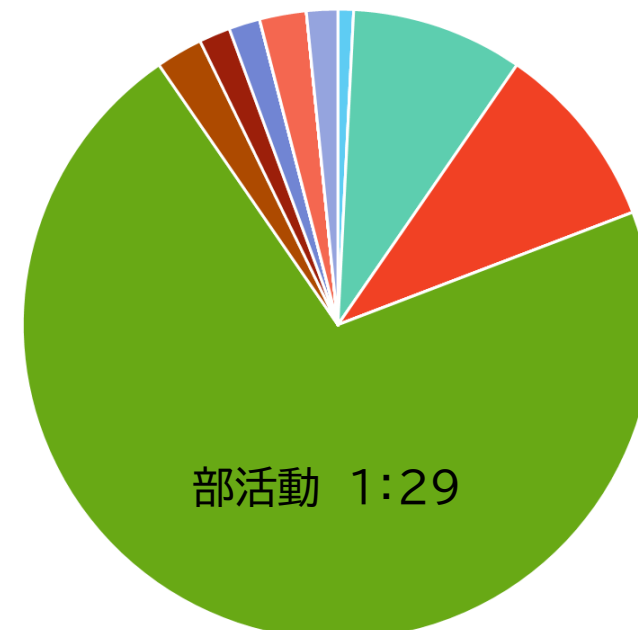
先生の仕事は、授業の他にもたくさんあります  
部活動の時間も多く、毎日忙しく積極的に業務にあたっています

【平日】



- 朝の業務
- 成績処理
- 学校行事
- 事務（調査への回答）
- 地域対応
- 授業（主担当）
- 生徒指導（集団）
- 学年・学級経営
- 事務（学納金関連）
- 行政・関係団体対応
- 授業（補助）
- 生徒指導（個別）
- 学校経営
- 事務（その他）
- 校務としての研修

【休日】



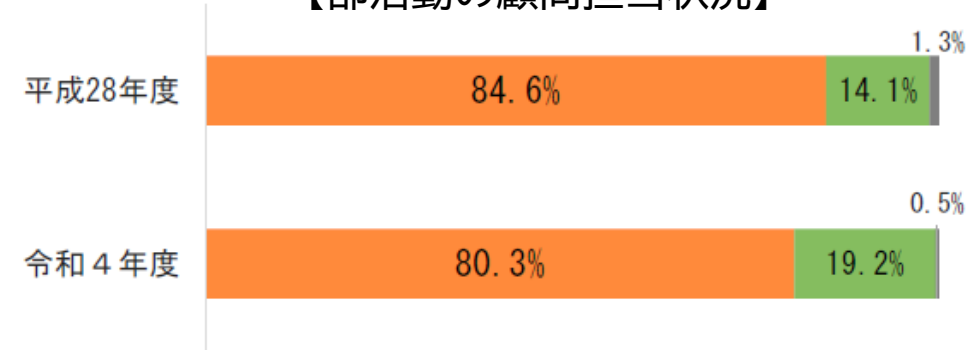
- 授業準備
- 部活動・クラブ活動
- 職員会議・学年会などの会議
- 校内研修
- 会議
- 学習指導
- 児童会・生徒会指導
- 個別の打ち合わせ
- 保護者・PTA対応
- その他の校務

単位:分



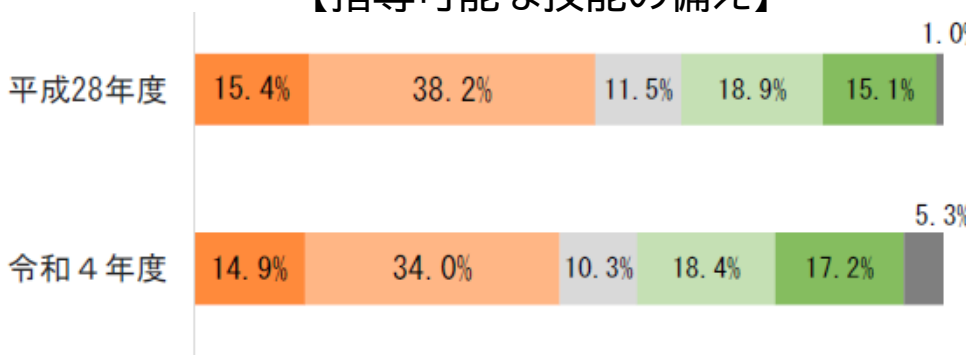
約80%の先生が、顧問として学校部活動を担当してくれています  
部活動での指導について、不足があると感じている先生も存在しています

【部活動の顧問担当状況】



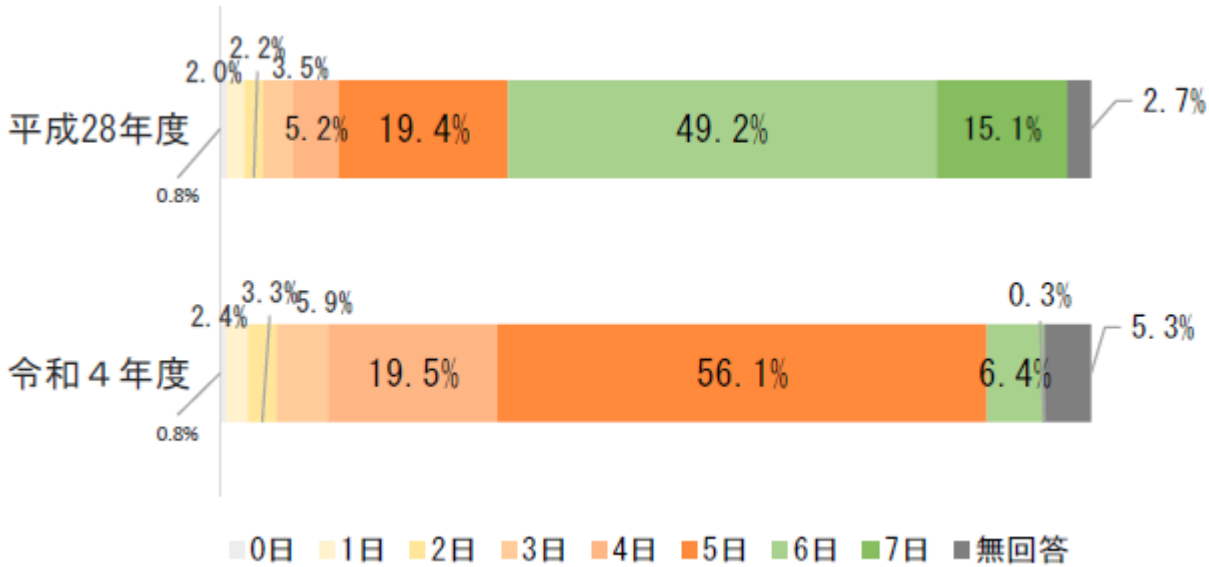
■顧問をしている ■顧問をしていない ■無回答

【指導可能な技能の備え】



■十分備えている ■ある程度備えている ■どちらともいえない  
■あまり備えていない ■全く備えていない ■無回答

【部活動の平均活動日数】



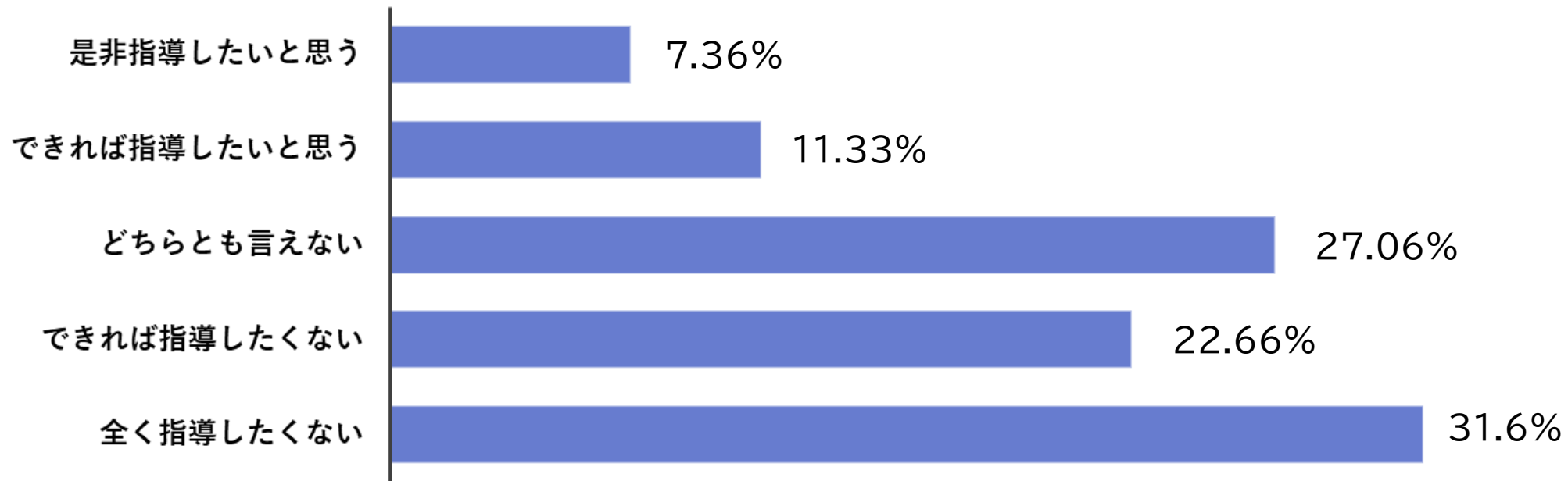
■0日 ■1日 ■2日 ■3日 ■4日 ■5日 ■6日 ■7日 ■無回答

※出典：文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)



約50%程度の比率で、引き続き指導を希望する先生と、休日の指導参加を見送る先生が存在している状況です

## 【休日部活動の指導参加意向】



※出典：長野県部活動意向調査(令和4年度)

## Point



先生たちは、多くの時間働いている状況です  
休日の対応も多く、一般的な企業の人より働く時間が長い傾向にあります

多くの先生が部活動の顧問として活躍頂いています  
指導頂いている先生も、指導の専門性に不安を抱えている方がいます

引き続き部活動に参加したい先生と、できれば参加したくない先生が存在しています

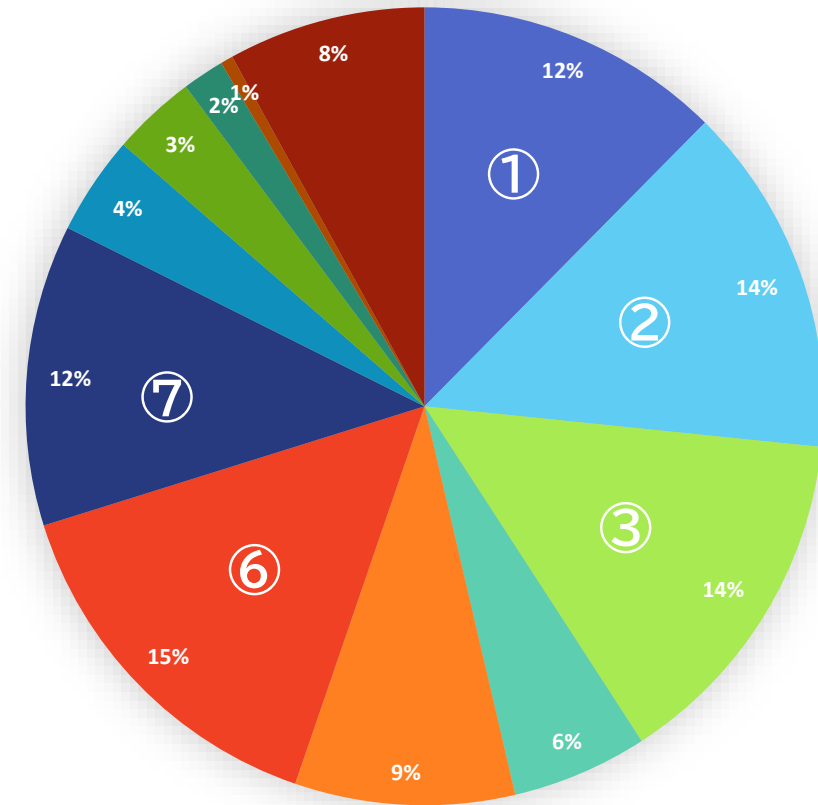


## 生徒・保護者の期待と不安



仲間との関係構築や活動で得られる体験を学びの場と考えているようです  
また、試合等への参加で達成感を得られることが主な理由となっています

- ①仲間ができるから
- ②興味のある活動ができるから
- ③体力や精神力、創造力や表現力が身につくから
- ④社会性、協調性、規律性が身につくから
- ⑤試合に勝ったり賞を取ったりできるから
- ⑥達成感(成功体験)が得られること
- ⑦努力することの大切さを学ぶから
- ⑧専門性の高い知識や技術が習得できるから
- ⑨ひまを持て余さないですむから
- ⑩進学に有利になるから
- ⑪安価で活動できるから
- ⑫心身の健康・体づくりのため



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10 ■ 11 ■ 12



休日と平日、活動の連続性と専門性の高い指導が受けられること  
また、活動は設備の整った環境で取り組みえることと、自分のレベルにあった活動を選べることが期待されています

## ①休日も学校部活動と同じ活動ができること

②現在の学校部活動にない種目・分野等の活動もできるようになること

③複数の種目等の活動を並行(へいこう)してできること

## ④同じ種目や活動であっても、自分のレベルに合った活動 を選べること(大会・コンクールで上位を目指す、活動を楽しむなど)

⑤自分の学校以外の生徒、または他の年代の人と活動ができること

## ⑥専門性の高い指導が受けられること

⑦小中と続けて活動ができること

## ⑧設備の整った環境で活動できること

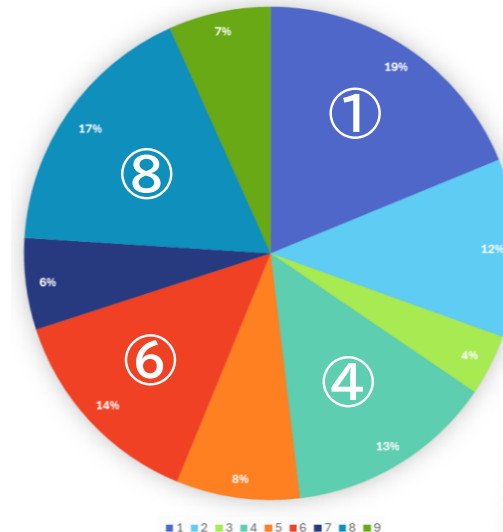
⑨複数の種目等で大会・コンクールに出場できるようになること

⑩部活動顧問の負担が減り、学務に専念できること

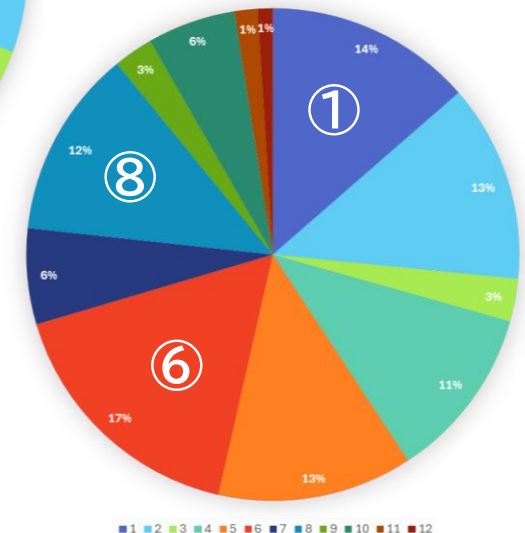
⑪保護者も地域指導者として関われる可能性があること

⑫その他

地域展開に関する期待：中学生



地域展開に関する期待：保護者





希望する活動への参加が可能か、会費等の費用負担、活動場所までの移動手段、学校生活に配慮された活動計画や時間配分が行われるかについて不安が存在しています

## ①希望する活動ができるか

## ②会費や道具代などの費用負担が増えないか

③平日の活動と休日の活動の内容の一貫性がなくなるか

④平日の部活動の仲間で大会等に参加が出来なくなってしまうのではないかな

## ⑤活動場所までの移動時間や移動手段があるか

⑥教育的観点に立った指導をしてもらえるか

⑦人間関係のトラブルへの対応

⑧事故防止のための安全管理体制

## ⑨学校生活に配慮した活動時間

(練習時間が長い、夜間の活動、テスト期間への配慮など)

⑩複数種目の活動をしていても参加できる大会が少ないのではないかな

⑪複数種目の活動をしている場合に、専念していないと団体競技や団体で出場するコンクール等では大会出場させてもらえないのではないかな

⑫進学や推薦・内申等に影響がでないかな

⑬個人の特性や障がい等に配慮した指導が行われるかな

⑭地域クラブに入らないと仲間外れになってしまうかな

⑮地域クラブに有力者が集まり選抜となって、全国大会の出場枠が取られてしまわないかな

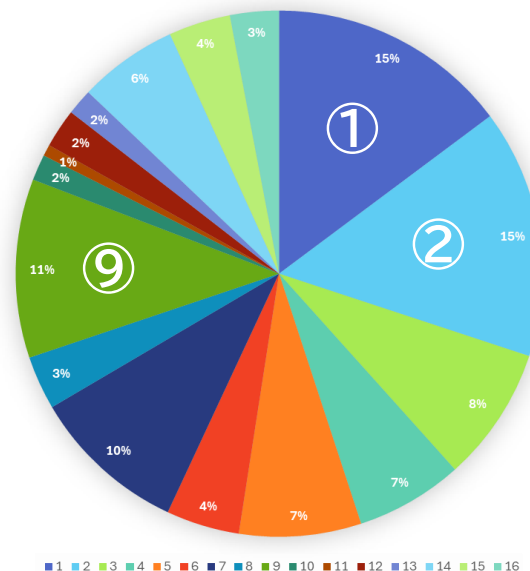
⑯学校職員の目が届かなくなるのではないかな

⑰練習や試合、大会での補助、当番の負担、大会運営・審判ボランティア等を強いられないかな

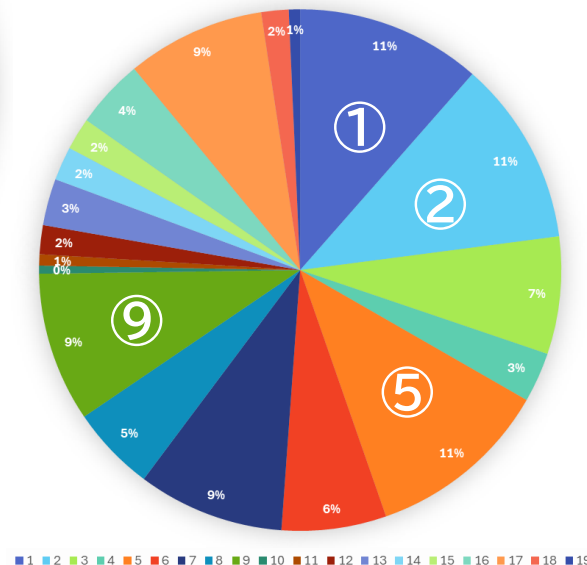
⑱教員の負担が変わらないのではないかな

⑲その他

地域展開に関する不安：中学生



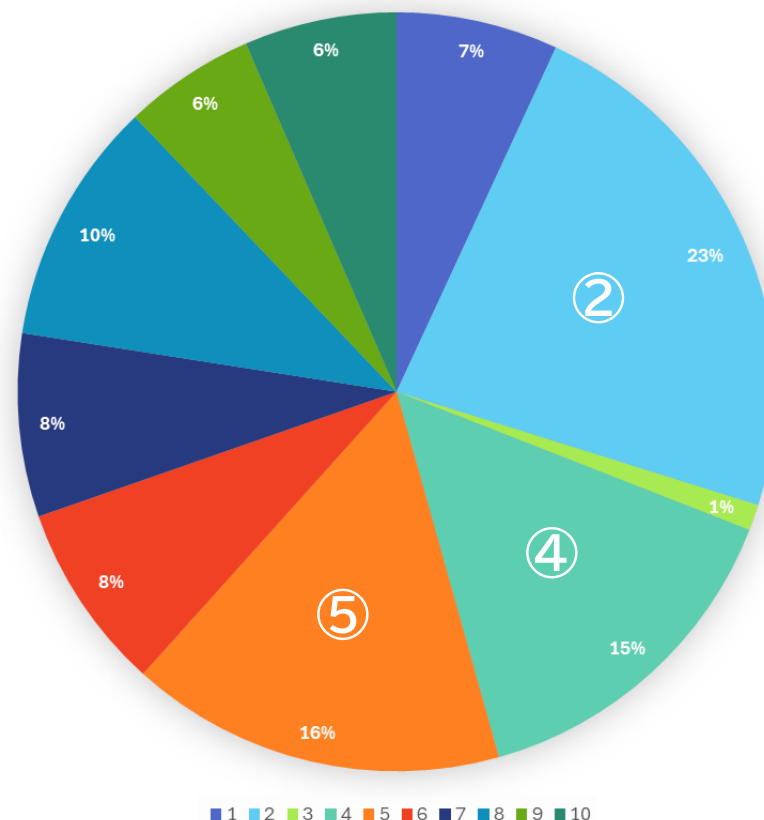
地域展開に関する不安：保護者





保護者の立場から、練習や大会等の送迎、当番等の補助対応、活動に関わる費用が負担とされています

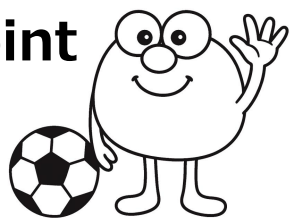
部活動における保護者の負担



- ① 弁当の用意
- ② 練習や試合、大会等の送迎
- ③ ユニフォーム等の洗濯
- ④ 練習や試合・大会等での補助、当番
- ⑤ 活動に係る費用(道具、会費等)
- ⑥ 保護者同士の付き合い
- ⑦ 家族で過ごす時間が少ない
- ⑧ 子どもの勉強時間が確保できない
- ⑨ 指導者と方針が合わない
- ⑩ その他



### Point

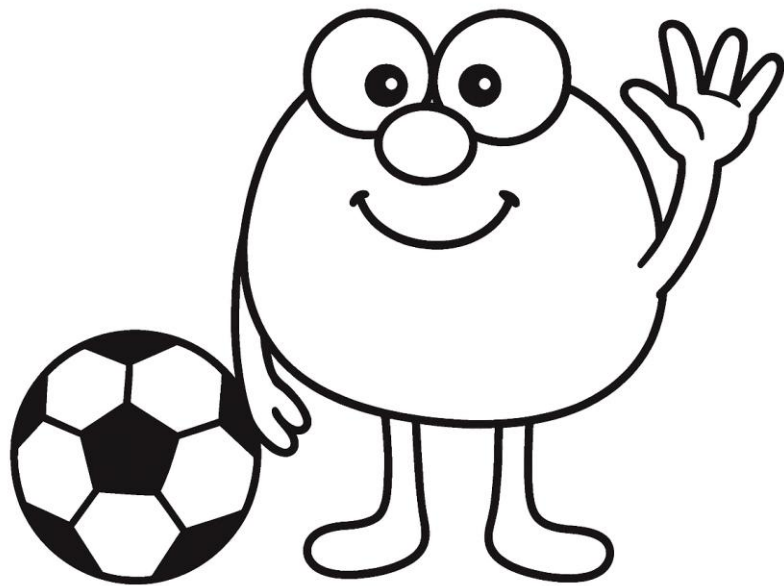


仲間との関係構築や活動を通じて得られる体験を学びの一環として捉えている点、試合等への参加による達成感の獲得が挙げられています

活動に対しては、平日・休日を通じた継続的な取り組みや、専門性の高い指導を受けられることへの期待が高く、設備の整った環境で、自身のレベルに応じた活動を選択できる点も重視されています

希望する活動への参加が可能か否か、会費等の費用負担、活動場所までの移動手段に関する不安と、学校生活との両立を考慮した活動計画や時間配分が適切に行われるかについても示されています

保護者の視点からは、練習や大会等への送迎、当番等の補助対応、ならびに活動に伴う費用負担が不安として示されています

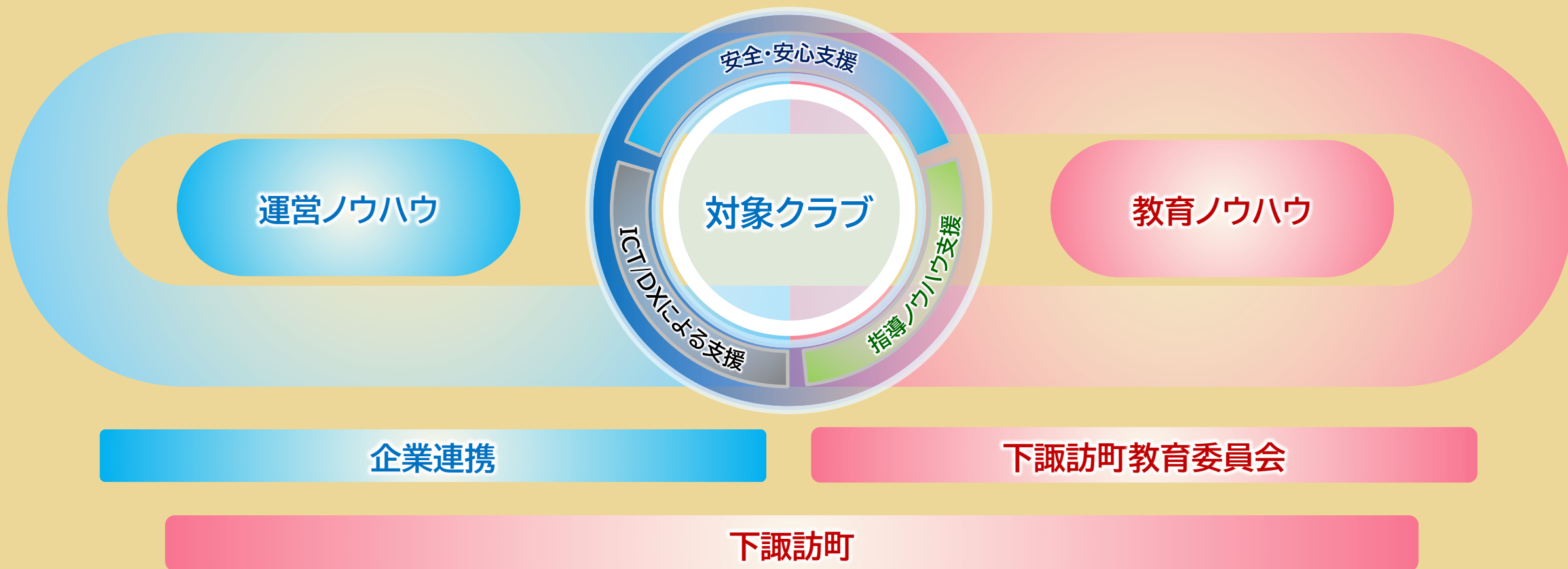


先生、生徒、保護者のみなさんの  
不安を解決し、期待に応える  
仕組みを作ることが必要です。

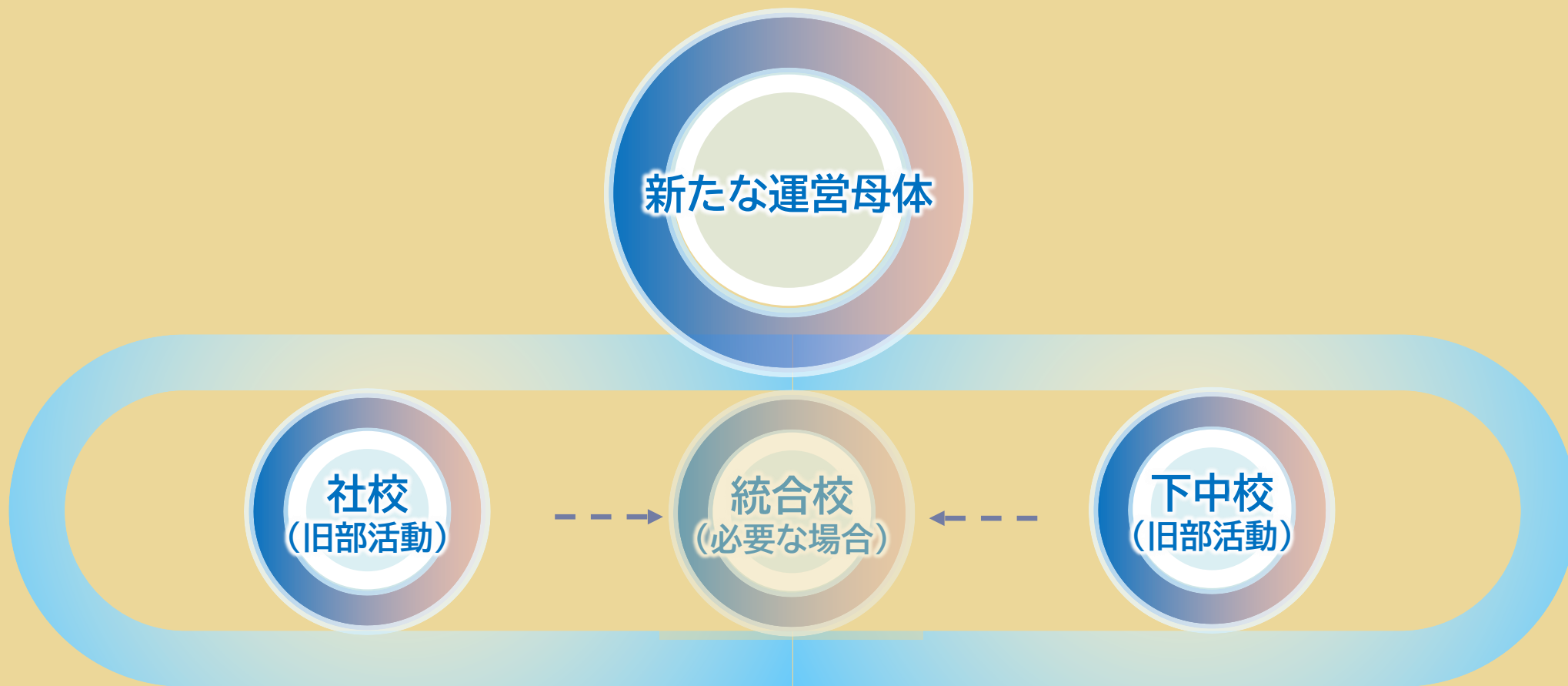
# 下諏訪モデル

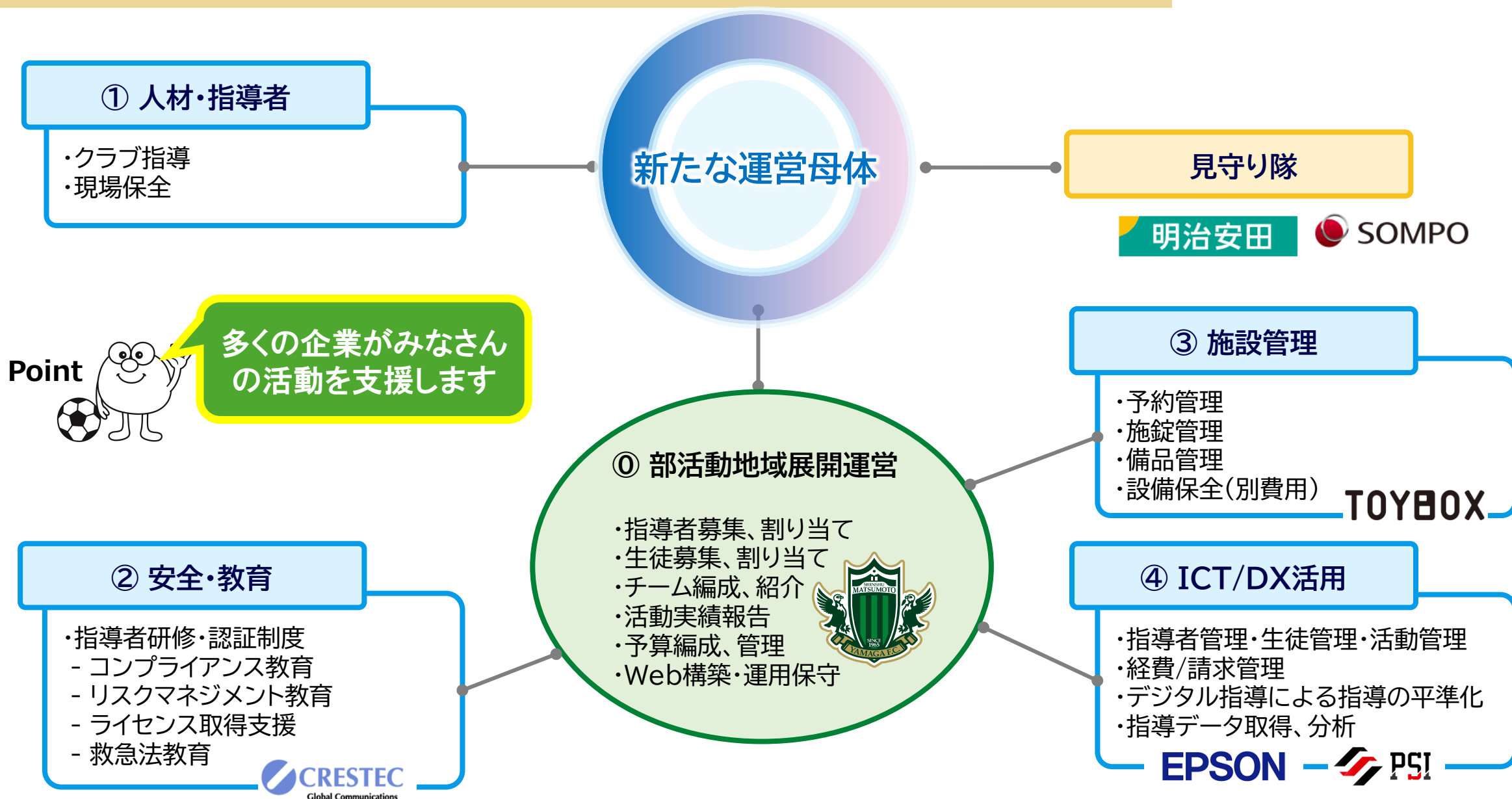


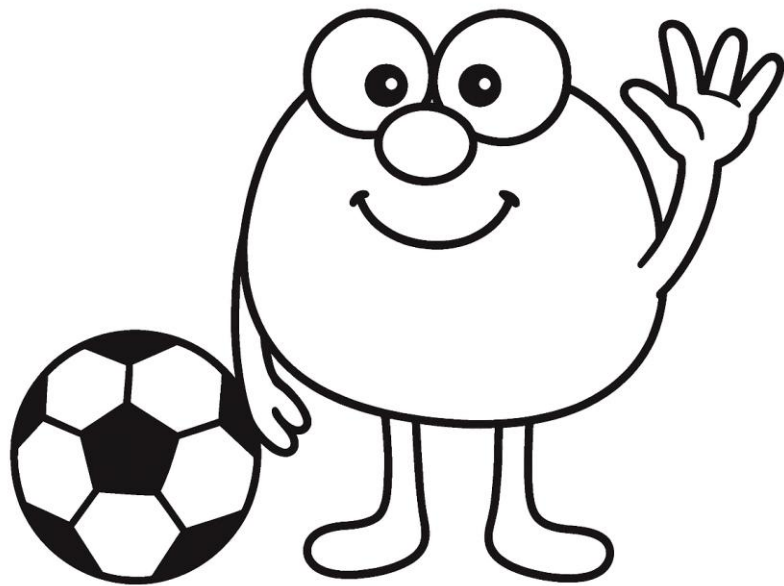
## 自治体と企業の連携によって地域に寄り添った運営を支援



従来の部活動や地域活動をつなぎ、競技単位で核となる運営母体を構築  
生徒を起点とし、地域事情にあわせたクラス編成や運営改善を可能とする持続可能な環境を創出







地域みなさんや企業の支援を  
頂きながら、新しい仕組みを  
作っていきます。

## 今後の進め方

### Phase0 | 全体構想の立案

協議会等への参画から地域の部活環境を把握し、連携企業と環境構築の検討を伴走。

### Phase1 | プロトタイプによる検証

地域に適した展開プロトタイプの設計と、テスト運用による展開検証を実施。

### Phase2 | 全体展開への取り組み

テスト運用から得られる知見の分析と、全体展開計画の策定と実際の展開を推進。

【中学校の現状と生徒数推移予測】

・学校数 2校  
・学級数 19学級  
・生徒数 399名  
※令和6年(2024年)時点

年	2002年 (H14)	2007年 (H19)	2012年 (H24)	2017年 (H29)	2022年 (R4)	2027年 (R9)	2032年 (R14)
生徒数	574	558	555	502	492	398	332

【部活動と部員数】 ※令和6年(2024年)時点

・12の活動に184名が参加、顧問の先生方28名と外部指導者8名にご指導頂いている

種 目	部員数※ 1、2 年生			顧問数		外部指導者	備 考
	下中	社中	合計	下中	社中		
サッカー部	9	4	13	0	2	社中4	社中が拠点校
ボート部	12	0	12	2	0		
男子ソフトテニス部	12	0	12	1.5	0		
女子ソフトテニス部	11	5	16	1.5	2	下中1	
男子バレーボール部	6	0	6	1.5	0		
女子バレーボール部	4	0	4	1.5	0		岡谷東部と合同
野 球 部	10	4	14	2	1		下中が拠点校
男子バスケットボール部	12	8	20	1.5	1	下中1/社中1	
女子バスケットボール部	9	4	13	1.5	1	社中1	R6.9～下中社中合同
陸 上 部	4	0	4	2	0		
吹 奏 楽 部	15	13	28	2	2		
美 術 部	26	16	42	1	1		
計	130	54	184	18	10	下中2/社中6	

## Point



Phase1のモデルケースとして、下記3活動を選定しプロトタイプの検証に着手します  
運動部、文化部の双方を選定し、先生方と地域社会活動との連携を視野に入れた検証を行います

### 陸上部

- 下中のみ平日週4日で活動、社会体育の陸上部と連携している
- 専門性を持ち合わせた顧問の先生と、社会体育組織が連携して指導できる環境にある
- 移動の問題は発生するが、町の陸上競技場確保が可能で、社中の生徒にも新たな環境が提供できる


### ボート部

- 下中のみ平日は週4日程度朝夕と、休日週1日と活動頻度が高く、現場指導は長野県ローイング協会が中心となって指導を実施
- 町の施設が整備されていて、既に地域クラブ的な活動が行われている
- 指導者の専門性が高く、持続可能な指導環境が整っているため、現状の休日活動を維持しながら地域展開が可能

### 美術部

- 基本は平日のみ週4日の活動が下中、社中で実施されており、場所や時間を変更せずに地域展開が可能な状態
- 参加生徒のモチベーションも様々で、心理的にも入部しやすく、放課後の生徒にとって心地よい環境や活動が提供できる
- 専門性のある顧問の誠意戦が継続して指導頂ける環境にあり、将来的な環境構築を見据えて町内の美術会との連携が可能



**Point**  今後の計画を具体的にし、来年度地域展開を進めていきます

## 男子バスケットボール

- 下諏訪クラブU15(スポ協バスケ部)に展開予定(令和8年)
- 課題:外部指導者の持続的な確保と中体連後の指導状況が不透明な状態  
生徒のモチベーションに差があること、地域展開に際してはしっかりと状況を理解を得た上で推進する必要がある

## 女子バスケットボール

- 下諏訪クラブU15(スポ協バスケ部)へ展開済
- 課題:特段大きな課題はなく、生徒同士のコミュニケーションも上手く回っている

## サッカー部

- スポ協サッカー部へ展開予定(令和8年)
- 課題:指導者の確保もされており、持続可能な運営が可能無い状態  
一方で、参加生徒数が少なく、部員数の減少を考慮すると広域連携を視野に入れた運営体制の構築が必要

## 野球部

- 第三野球部へ展開済(水、土、日)、ただし学校活動も存続
- 課題:中体連へ出場するために学校部活動を残す必要がある  
部員集が減少しており、広域連携を視野に入れた対応が必要な状況

## Point



今後の計画作る必要があります、計画を作ったのち地域展開を進めていきます

### 男子/女子バレーボール


- スポ協バレーボール部への展開を協議中
- 課題: 中体連後の部員数が男女ともに少なく、広域連携や合同チーム等の検討が必要な状況  
指導者が先生に依存しているため、持続的に指導が可能な体制の構築が必要

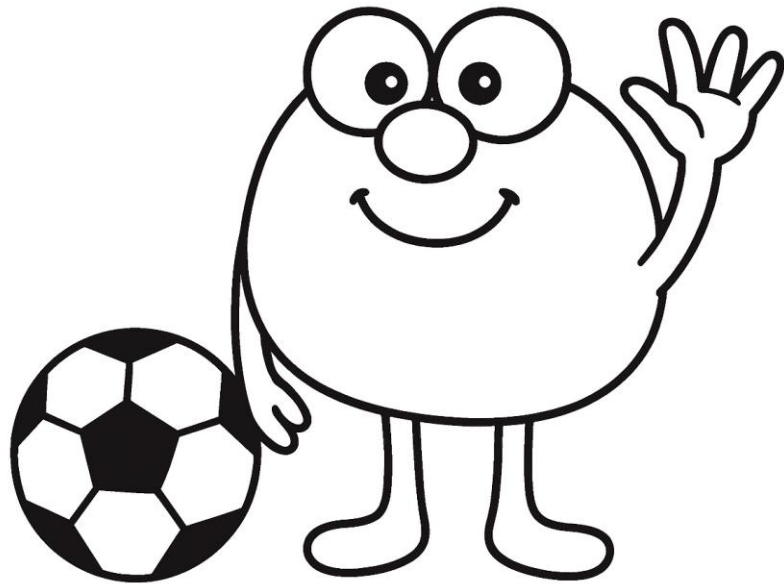
### 男子/女子ソフトテニス

- 指導者は存在するが、運営母体が存在しない(スポ協ソフトテニス部への展開不可)
- 課題: 希望生徒は20名程度、指導者も確保可能であるが、運営母体の存在がなく持続的な体制の構築が必要  
雨天時やシーズンオフの屋内利用等、施設確保が限定的となっている点も課題が存在

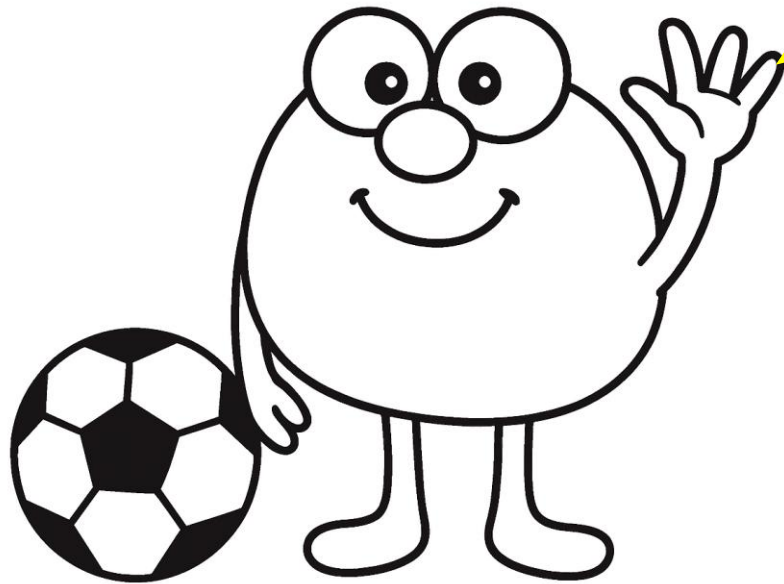
### 吹奏楽部

- 運営母体が存在せず、教諭以外の指導者も不在
- 課題: 運営母体の新設と指導者の確保が必要、並行して大型楽器の運搬・保管や継続的に活動可能な状態を創出する必要がある  
楽器の所有課題が未解決な状況

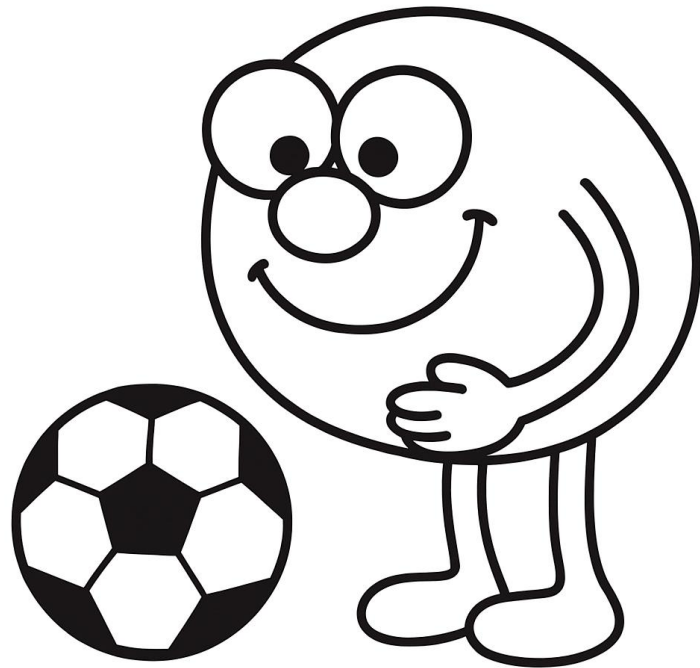
年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
上半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部活動顧問との面談</li> <li>・団体責任者、指導者との面談</li> <li>・関係者向け説明会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9部活の地域展開に関する説明会</li> <li>・利用者登録</li> </ul>	 <p><b>休日部活動 の完全展開</b></p> <p><b>活動継続</b></p>
下半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上部、ボート部、美術部（平日のみ）を地域クラブへ完全展開</li> <li>・上記に関する実施検証（受益者負担、指導者謝金、移動手段、活動場所等）</li> <li>・残り9部活の地域展開に関する協議（男女バスケット部、男女バレーボール部、男女ソフトテニス部、野球部、サッカー部、吹奏楽部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9部活の地域クラブ活動開始</li> </ul>	



いまの活動が無くなることはありません。現状の活動を継続しながら計画的に新しい仕組みへ展開していきます。



新しい仕組みにするためには、  
先生、生徒、保護者の皆さん  
の協力が必要です。



これからも  
よろしくお願いします。



しもすわまち

下諏訪町

Shimosuwa Town

## 下諏訪町デジタル地域クラブについて

下諏訪町IT系地域クラブ活動推進協議会





### ▶ デジタルって？

- ▶ スマホやゲーム、動画などに使われている
- ▶ 「デジタル」の しくみを楽しく学べるクラブだよ！

### ▶ 0と1の世界

- ▶ コンピューターは「0」と「1」で 情報をあらわしているんだ
- ▶ ちょっと不思議でおもしろい！

## ▶自分を表現しよう

- ▶ 絵を描いたり、音楽を作ったりして、
- ▶ 自分のアイデアを形にできるよ。

## ▶動画や画像を編集

- ▶ YouTuberみたいに動画を作ったり、
- ▶ 写真をかっこよく加工してみよう！

### ▶プログラミングに挑戦

- ▶ ゲームやアプリのしくみを学んで、自分だけのミニゲームを作ってみよう！

### ▶ドローンを飛ばそう

- ▶ プログラムでドローンを動かして、空を飛ばししくみを学習できるよ。

### ▶みんなで協力して作品づくり

- ▶ 友だちとチームになって、ひとつの作品を作る楽しさを味わおう！

### ▶eスポーツ大会にチャレンジ

- ▶ 人気のゲームで大会に出場！ 集中力とチームワークが大事だよ。



### ▶情報を見分ける力

- ▶ インターネットの情報が正しいかどうかを考える力がつくよ。

### ▶考えを伝える力

- ▶ 動画や作品で、自分の気持ちや考えを伝えられるようになるよ。

### ▶協力する力

- ▶ 友だちと協力して、ひとつのものを作り上げる力が育つよ。

### ▶チャレンジする力

- ▶ 新しいことに挑戦して、ずっと学び続ける力が身につくよ。



- ▶ デジタルが好きな人
  - ▶ パソコンやタブレットを さわるのが好きな人にぴったり！
- ▶ 作ってみたい人
  - ▶ ゲームや動画を作ってみたい人、アイデアを形にしたい人におすすめ！
- ▶ 表現が好きな人
  - ▶ 絵や音楽など、自分を表現するのが好きな人に向いてるよ。
- ▶ 協力が楽しいと思う人
  - ▶ 友だちと協力して何かを作るのが楽しいと思う人にぴったり！
- ▶ 大会に出てみたい人
  - ▶ チームで大会にチャレンジしてみたい人、ぜひ参加してね！